この2週間の「泣きやすさ」

8項目の日本語参考訳｜標準化された日本語版ではありません。

氏名・ID：_____　回答日：_____

脳卒中の後に、涙の出方や泣き方が変わることがあります。過去2週間を振り返り、それぞれの文が自分にどの程度当てはまるか、答えを一つ選んで○を付けてください。

	項目	強くそう思う	そう思う	分からない	そう思わない	まったくそう思わない
1	この2週間は、脳卒中になる前よりも涙ぐみやすくなったと感じます。	○	○	○	○	○
2	この2週間は、脳卒中になる前よりも実際に泣くことが増えました。	○	○	○	○	○
	1・2の両方が「そう思わない」または「まったくそう思わない」なら、ここで終了。 それ以外は3へ進みます。「分からない」は中止の条件ではありません。					
3	泣き出すのは突然で、前触れは数秒しかないか、まったくありません。	○	○	○	○	○
4	予想していないときに泣き出します。	○	○	○	○	○
5	泣き出すと、自分で抑えたり止めたりすることができません。	○	○	○	○	○
6	脳卒中になる前なら泣かなかったような場面で泣きます。	○	○	○	○	○
7	このような泣き方が、少なくとも週に1回、またはそれ以上あります。	○	○	○	○	○
8	そのとき悲しいと感じていなくても、泣き出します。	○	○	○	○	○

参考訳・再編集：STROKE LAB。出典：Broomfield NM et al. Clin Rehabil. 2021;35:894–903, Table 2（© Authors 2020, CC BY 4.0）。翻訳・配色・配置を変更。

原著・8項目を確認 ／ CC BY 4.0 ／ 開発元・正式版の利用条件

採点と、面接につなぐ目安

点数は泣きやすさの評価です。抑うつの得点ではありません。

01 5つの回答を、2・1・0・0・0点にする

強くそう思う：2点 ／ そう思う：1点
分からない・そう思わない・まったくそう思わない：いずれも0点
「分からない」という回答と、未回答・理解困難は区別します。

項目1：_____ 点	項目2：_____ 点	項目3：_____ 点	項目4：_____ 点
項目5：_____ 点	項目6：_____ 点	項目7：_____ 点	項目8：_____ 点

☐ 8項目完了：合計 _____ / 16点　　☐ 2項目で終了

中止条件で終了した場合は「2項目で終了」と記録し、未実施6項目を回答済みの0点として埋めません。未回答が残る場合も合計を保留します。

02 原版研究に基づく、次の行動の目安

0〜1点：情動失禁の可能性は低い。訴えや観察と合わなければ確認する。
2〜5点：追加面接で、突然性・抑えにくさ・頻度・生活への影響を確認。
6〜16点：情動失禁の可能性が高く、支援・治療の必要性を評価。
この区分は重症度の「軽度・中等度・重度」を表すものではありません。

03 面接で追加する4つの確認

① 発症前と比べて、どのように変わったか。
② いつ・何をしているときに始まり、何分ほど続き、止められるか。
③ 泣いているときの気持ちと、泣いていない時間の気分はどうか。
④ 人と会う・訓練に出る等を避けていないか。本人は何に困るか。

原版の開発研究：2点以上で感度87%・特異度90%。日本語参考訳の精度は未検証です。失語症のある方は原版開発研究から除外されていました。
原版資料：開発・検証論文 ／ 0〜1／2〜5／6点以上の実践ガイド

泣く場面と、生活の支援を記録する

追加の臨床記録｜このページの内容はTEARS-Qの得点に加えません。

本人の言葉／泣くときの気持ち・困っていること

場面・きっかけ・頻度・持続時間・抑えやすさ／発症前との差

参加への影響／避けている活動・他者の反応・本人が望む対応

併せて確認／抑うつ・不安・痛み・疲労・失語症等／医師への共有

支援／休む合図・待ち方・説明する相手・再開する活動

次回／同じ期間と方法での得点・頻度・負担・参加の変化

支援例：本人と「少し待ってほしい」の合図を決め、落ち着いてから再開する。周囲への説明は本人の同意を得る。泣くことだけでうつ病と判断せず、両者の併存も確認する。